

弁フ通信

No.139

令和8年8月31日
選挙特集号

弁理士クラブ選挙対策委員会委員長 権正 英樹

平素より弁理士クラブの活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

この度、令和9年度日本弁理士会役員定時選挙におきまして、当クラブからの推薦により、副会長候補者として、國井久美子会員が立候補いたします。また、関東選挙区常議員候補者として、中川裕幸会員、石田理会員、及び、渡辺知晴会員が立候補いたします。さらに、監事候補者として、井上一会員が立候補いたします。当クラブは、これまでの長い歴史の中、会員同士の強い繋がりを基盤に、知的財産制度や弁理士制度の改善に貢献してきました。いずれの候補者も、日本弁理士

会の将来と真剣に向き合い、弁理士をより魅力的なものとする高い志をもった我々弁理士クラブの同志たちです。会員の皆様におかれましては、当クラブの強い繋がりをもって彼ら同志たちを支え、5名の候補者全員が無事当選を果たせるよう、絶大なご支援を賜りますよう宜しくお願いします。

選挙運動期間(本年8月31日～同年9月18日の予定)中には、候補者又はその協力者から電話や電子メール等でご連絡を差し上げます。ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、どうか少々のお時間を頂戴し、候補者の声に耳を傾けて頂けますよう重ねてお願い申し上げます。

副会長
候補者

くにい くみこ
國井 久美子 (56歳)
弁理士登録番号 14241号

國井久美子選挙事務所
〒380-0867
長野県長野市往生地1340-1-502
地域資源IP活用研究所事務所内

TEL 070-8552-5468

監事
候補者

いのうえ はじめ
井上 一 (72歳)
弁理士登録番号 9047号

井上一選挙事務所
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町二丁目2番地
センタークレストビル3階
リバーフロー国際特許事務所内

TEL 03-6821-7605 FAX 03-6821-7625

常議員
候補者

なかがわ ひろゆき
中川 裕幸 (64歳)
弁理士登録番号 9531号

中川裕幸選挙事務所
〒103-0014
東京都中央区日本橋蠣殻町1-36-7
蠣殻町千葉ビル6F
中川国際特許事務所内

TEL 03-5623-2900 FAX 03-5623-2903

常議員
候補者

いしだ おさむ
石田 理 (51歳)
弁理士登録番号 19195号

石田理選挙事務所
〒160-0022
東京都新宿区新宿4-3-17
弁理士法人 太陽国際特許事務所内

TEL 03-3357-5171 FAX 03-3357-5180

常議員
候補者

わたなべ ともはる
渡辺 知晴 (42歳)
弁理士登録番号 20761号

渡辺知晴選挙事務所
〒170-0005
東京都豊島区南大塚2丁目38-1
リードシー大塚ビル8階
渡辺総合知的財産事務所内

TEL 03-5877-4221



くにい く み こ

國井 久美子 (56歳)

弁理士登録番号 14241号

略歴 平成6年
平成17年
平成22年、23年
令和6年
令和7年

中央大学 大学院 理工学研究科修士課程 修了
弁理士登録
常議員
東海会 長野県地区会長
弁理士会 農林水産知財対応委員会委員長

この度、弁理士クラブのご推薦をいただき、令和9年度日本弁理士会役員定時選挙において、副会長に立候補させていただくこととなりました國井久美子です。このような機会を与えて頂きました弁理士クラブ会員の皆様に御礼申し上げます。

私は平成17年に弁理士登録し、現在は大学のURAとして研究成果の社会実装や産学連携に携わりつつ、地域や農林水産分野での知財活用にも取り組んでいます。さまざまな現場に身を置く中で、弁理士の専門性を必要としている場合は、社会の中に広く存在していると感じてきました。

AIの進展などにより、弁理士を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした時代だからこそ、既存の業務を守るだけでなく、弁理士が新たに価値を提供できる場を具体的に広げることが必要です。

特に、私は地方の活性化が重要だと考えています。食料・農林水産業、伝統工芸、観光など、地域資源を生かした産業には、弁理士の専門性を大いに発揮できる可能性があります。地方自治体や地域の拠点となる大学・大学校、関係機関等との接点を広げ、知的財産を経営やブランド、研究開発、事業化につなげるとともに、相談、教育、事業支援などに弁理士が継続的に関与できる仕組みを今後さらに広げたいと考えています。

このような活動は、個人の力だけでなく、日本弁理士会という組織の力で進めてこそ、大きな成果につながると考えます。日本

弁理士会が社会に働きかけ、弁理士の活躍の場を広げ、得られた機会をより多くの会員へ還元する。そして、そこで得られた経験や知見を会の中に蓄積し、次の活動へつなげていく。多くの弁理士が、それぞれの専門性や経験を日本弁理士会の財産として未来へつなぐ。人が入れ替わっても弁理士の価値が高まり続ける、そのような組織的な仕組みが、弁理士業界の持続的な発展と安定につながると考えます。

副会長に選任いただいた暁には、弁理士の活躍の場を広げ、その力を日本弁理士会の組織力へとつなげるため、精一杯取り組んでまいります。皆様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

推薦者の言葉



竹内 康司

令和9年度日本弁理士会副会長候補として、國井久美子先生を推薦いたします。國井先生とは東海会長野県地区会で活動をともし、長野県地区会長としての組織運営を間近で見ました。國井先生は、自らが感じた課題を次の体制に残さず、活動しやすい仕組みへと整え、また自ら得た機会を周囲に還元し、多くの会員が活躍できるよう支える側にも回られる方です。人を生かし、機会を広げ、成果を組織に残して次へつなぐ実行力と組織運営力を、日本弁理士会でも十分に発揮してくださると確信しています。皆様のご支援をお願い申し上げます。

いのうえ はじめ

井上 一 (72歳)

弁理士登録番号 9047号

略歴 昭和52年
昭和58年
平成6～7年度
平成16年度
令和4～5年度

金沢大学 工学部機械工学科 卒業
弁理士登録
常議員
副会長
常議員 令和5年度常議員議長

この度、弁理士クラブのご推薦を頂き、令和9年度の日本弁理士会役員定時選挙において監事に立候補することとなりました井上一です。

弁理士登録43年目を迎えます。私が弁理士登録した昭和後期から平成の後期に入った頃までは、バブルを経て失われた20年と言われましたが、今と比較すれば比較的平穏な時代でした。弁理士業務も活況でした。2014年のリーマンショックを契機として、その後の天災（地震、台風、豪雨、コロナウィルス等）や近年の地政学リスクや人口減少等により、日本経済の大幅な落ち込みがありました。不況のときほど研究開発費、知財管理費が増強された過去の時代とは異なり、圧縮経営の下での研究開発及びグローバル権利化の要請により、国内の特許出願件数は減少しました。ここ2年、AI関連出願により特許出願数は増加の気配が見られます。しかし、弁理士にとってAIが、敵となり脅威となるか、味方となり好機となるかは、今後の動向に委ねられます。

平成8年頃からの「日本もプロパテント」、「科学技術創造立国」、「知財立国」、「知的創造サイクル」や、近年では「第4次産業革命」、「農水知財」等の国家戦略が叫ばれ、弁理士の職域も拡大されました。しかし、増員された弁理士が活躍する新たな市場は、縮小する出願権利化の枠を大きくはみ出すことはなく、いまだ過当競争を呈しています。

その一方で、日本の内外で新たな業務・業態にチャレンジする

弁理士、様々な経歴・経験を生かした異色の弁理士も続々と誕生しているのもまた事実です。弁理士会から日本弁理士会へ改称され、各地域の支部も地域会へと改称され、新しい器に新しい人材が溢れています。

時代は常に変化し、過去の成功事例では現在の問題は解決できません。弁理士も日本弁理士会も、生き残るには時代の変化に適応して自ら変化し続けなくてはなりません。

この困難でも新しい時代に、監事の視点、視野、視座から日本弁理士会の会務の執行を見つめ、監事の役割をその職域の中で全うしたいと思います。

推薦者の言葉



川久保 新一

私は、令和9年度日本弁理士会監事候補として井上一先生を推薦します。井上一先生は、常議員、副会長等、長年にわたり日本弁理士会の会務を務められております。特に、能力担保研修及び知財ビジネスアカデミー等の研修事業にはその創設から関わり、会外でも知財検定、MOT大学院での知財教育にも関与されました。監事は、役員会の行動をチェックし、日本弁理士会の自浄作用の機能を有する唯一の機関であり、対外的にも非常に重要なものです。この重責を担うことができるのは、数多くの経験を積んだ井上一先生が最適であると思います。

なかがわ ひろゆき

中川 裕幸 (64歳)

弁理士登録番号 9531号

略歴 昭和61年 早稲田大学 商学部 卒業
昭和62年 弁理士登録
平成15年 常議員
平成26年 副会長
令和元年 研修所所長

この度、弁理士クラブのご推薦をいただき、令和9年度役員定時選挙において、常議員候補として立候補させていただきました、中川裕幸です。弁理士クラブ会員の皆様には御礼申し上げますとともに、立候補にあたりご挨拶申し上げます。

私は昭和63年に弁理士登録しました。当時、ワープロが一般的に普及したばかりでした。その後、電子出願となって紙出願が無くなり、また、メールの発達により海外代理人とのやり取りを郵便で行わなくなり、さらにネットにより公開情報を簡単に取得できるようになりました。弁理士になって40年近く、多くのことがあったなと思っていたところに、ラスボス的なAIの登場です。AIの進歩は目を見張るものがあり、近く当たり前のようになり社会実装されることになると思います。一方で、我々弁理士は、自然法則と知的財産の知識という論理を基礎としながらも必ずしも理論通りに動かない「ざらざらとした現実」において仕事をしています。我々がAIの力を借りることがこれからどんどん増えていくでしょうが、我々はAIから最適解を引き出すプロンプトを知っていますし、またクオリアを持たないAIとは違う存在意義がある、というこ

とも同時に感じています。私が常議員に当選させて頂きましたらなら、かかる感覚を大切にして日本弁理士会や弁理士クラブにお役に立てるように努力していきたいと考えています。宜しくお願いいたします。

推薦者の言葉



井上 誠一

中川裕幸先生を常議員候補として推薦します。中川裕幸先生は、弁理士クラブ幹事長、日本弁理士会副会長、研修所所長などの要職を歴任されています。

弁理士業務においては、特許事務所経営のほか、セミナー講師等も多数経験されており、弁理士クラブでは相談役会会長の要職もつとめられておられます。

このように、中川先生は常議員として、日本弁理士会の会務執行等に対して、適切な発言や行動を取ることが期待されます。選挙に際しましては、弁理士クラブの諸先生方の絶大なるご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

いしだ おさむ

石田 理 (51歳)

弁理士登録番号 19195号

略歴 平成12年 芝浦工業大学 大学院 工学研究科 修士課程 修了
平成25年 弁理士登録
令和6年 日本弁理士会 不正競争防止法委員会 委員長
令和8年 弁理士クラブ 副幹事長(研修担当)

この度、弁理士クラブのご推薦をいただき、日本弁理士会常議員候補(関東選挙区)として立候補させていただく石田理です。心から御礼申し上げますとともに、立候補にあたりご挨拶申し上げます。私は、独立行政法人国民生活センターや公正取引委員会等の行政機関での勤務を経て、平成25年に弁理士登録いたしました。その後、特許事務所での実務に励む傍ら、日本弁理士会では不正競争防止法委員会の委員長や知財制度検討委員会の委員として活動し、弁理士クラブでは「実務家のための知的財産権判例70選」のグループリーダーを務めるなどの会務活動に参加してまいりました。近年、生成AIは目覚ましい発展を遂げています。生成AIの知財業務への導入が進み、知財業務が変革期にある現在、私は生成AIを業務支援ツールと位置付け、最終的な法的判断等は弁理士が担うという考えのもとで業務に取り組んでおります。一方で、今後のAIのさらなる進化によって、弁理士の役割がどう変化していくべきかについては、私自身も模索しているところです。私が常議員に当選いたしました暁には、これまでの経験を活かし、こうしたAI時代における業界の変化を見据えつつ、日本弁理士会の適

切な会務執行に努めてまいります。そして、日本弁理士会及び弁理士クラブの発展のために、全力を尽くして貢献していく所存です。皆様の温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

推薦者の言葉



村野 直仁

石田理先生を日本弁理士会常議員候補(関東選挙区)として推薦いたします。石田先生は、弁理士として高い見識と真摯な姿勢をお持ちであり、日本弁理士会の不正競争防止法委員会での活動を通じて、同会の発展と適切な会務の執行に貢献できる優れた資質を備えていることを示してこられました。常議員として、重要案件に対する的確な審議を行い、日本弁理士会の将来を見据えた役割を果たされる人物であると確信しております。選挙に際しましては、石田理先生に多大なご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

わたなべ ともはる

渡辺 知晴 (42歳)

弁理士登録番号 20761号

略歴 平成23年 北海道大学 大学院 情報科学研究科 博士前期 卒業
平成26年 東京医科歯科大学 大学院 生命情報教育部 博士後期 退学
平成28年 弁理士登録
平成30年~令和3年 日本弁理士会 弁理士業務標準化委員会
平成30年 日本弁理士会 技術保護テキスト作成委員会
令和2年~令和3年 関東会 研修対応委員会
令和8年~現在 関東会 広報委員会
平成30年~現在 弁理士クラブ フットサル同好会 部長
令和8年~現在 弁理士クラブ 広報委員会 委員長

この度、弁理士クラブのご推薦を頂き令和9年度の日本弁理士会常議員候補として立候補させていただきます、渡辺知晴です。弁理士クラブ会員の皆様には、ご推薦を頂き、心から御礼申し上げます。私は、2016年の弁理士登録以降、AI・データの利用に関する契約ガイドライン(経済産業省)や経営基盤強化委員会(日本弁理士会)をはじめ、多くの公益業務に関与し、活動を行ってきました。また、弁理士クラブにおいては、長年、フットサル同好会の部長を務めさせていただいており、弁理士クラブ会員の交流の一部に寄与できたものと自負しております。

近年では、様々な技術進展により、社会全体の構造が大きく変化しているものと感じます。特に生成AIの普及のインパクトは大きく、従来の知財業務の価値や役割自体が大きく変わろうとしています。このような環境において、企業弁理士や事務所弁理士に求められる役割も変化することは必然であり、次の時代にどのような知財人材は、どのような価値を社会に対して価値を提供していけるのか、常に考え続けることが重要であると感じています。このような意識を持ちながら、その結果として、日本弁理士会及び弁理士クラブの発展のために尽力し

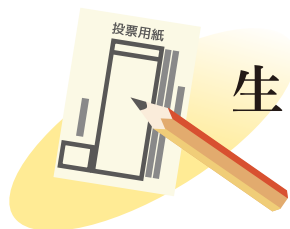
てまいりますので、皆様の温かいご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

推薦者の言葉



河部 康弘

渡辺知晴先生を日本弁理士会常議員候補(関東地区)として推薦します。渡辺先生は、会派に入る若手・会務活動に参加する若手が少なくなっている中でも、弁クではこれまでなかったフットサル同好会を作って毎年「パテントカップ」という知財関係者のフットサル大会に参加する、会務活動では経営基盤強化委員会や関東の研修対応員会で活動するなど、精力的に活動されています。また、ご家庭では家事・子育てを中心になってこなす、現代的な感覚をお持ちの先生です。渡辺先生に常議員として活躍していただくことは、今後の弁理士クラブ、日本弁理士会の活動にとって必要です。弁理士クラブの先生方におかれましては、渡辺先生のご支援をしていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



生成 AI 時代の知財業界を担う仲間を、 弁ク全員で応援しよう！

弁理士クラブ幹事長 小越 一輝

会員の皆様には、平素より弁理士クラブの活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和9年度の日本弁理士会役員定時選挙において、弁理士クラブからは、副会長に「國井久美子」会員、監事に「井上一」会員、関東選挙区の常議員に「中川裕幸」会員、「石田理」会員、「渡辺知晴」会員が立候補いたします。いずれの会員も、日本弁理士会、弁理士クラブ、弁理士連合クラブ等において精力的に活動され、各役職を担うに十分な経験と見識を備え、日本弁理士会の役員として大きく貢献していただけるものと確信しています。

近年、生成 AI をはじめとするデジタル技術の急速な発展により、社会や産業のあり方は大きく変化し、知的財産の創出、保護、活用の現場でも、弁理士が向き合うべき課題は一層広がり、高度化しています。このような変革の時代に、これか

らの日本弁理士会、さらには知財業界の未来を担うにふさわしい人材を弁理士クラブから擁立できたことは、私達の大きな誇りです。会員の皆様には、候補者への絶大なるご支援とご投票を賜り、加えてご友人の弁理士にも支援の輪を広げていただきますようお願いいたします。

日本弁理士会の事業活動は、我々弁理士が日頃行う業務の基盤を整え、弁理士の地位を確固たるものとし、知財業界の進展を促す必要不可欠な活動です。生成 AI の利活用が進む中でも、専門家としての判断力、倫理観、実務経験に裏打ちされた弁理士の役割はますます重要になります。その活動を担う人材として、ここに挙げた方々を弁理士クラブは自信をもって推薦します。会員の皆様には、この選挙の機会に、弁理士クラブの仲間を応援し、積極的にご投票いただけますことを心よりお願い申し上げます。



投票方法

投票はすべて**郵便投票**です。弁理士会館に出向いて投票することは認められません。郵便以外の手段（例えば宅配便）も無効となりますので、ご注意ください。

投票期間直前に投票用紙、内封筒及び外封筒が送付されてきます。投票用紙に候補者の氏名を記入して内封筒に封入し、これを外封筒に封入して郵便で送付下さい。

投票期間は、**9月19日から10月8日午後5時まで**です。投票用紙の送付には通常より2～3日多くの配達日数を要しますので、お早めにご郵送ください。投票期間前に到達したものは投票期間の初日に到達したものとみなされますので、投票期間前に郵送いただいても問題ありません。

選挙日程等の詳細は、JPAA ジャーナル7月号に掲載の「**令和9年度役員定時選挙の実施要領**」をご確認下さい。

選挙結果報告会のお知らせ

10月9日（金）に日比谷公園の松本楼にて選挙結果報告会を開催する予定です。同日は投票選挙が実施された場合の開票日ですが、選挙結果報告会は投票選挙が実施されるか否かに関わりなく開催します。

詳細は追ってご案内いたします。



弁理士クラブ
選挙 HP アドレス
(選挙運動期間のみ)

弁ク通信 第139号

発行日	令和8年8月31日
発行者	弁理士クラブ
文書責任者	權正 英樹
編集	弁理士クラブ選挙対策委員会